



'To acknowledge the duty that accompanies every right'
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE OSAKA CENTENNIAL

G/O OSAKA YMCA
 1-5-6 TOSABORI, NISHIKU,
 OSAKA, JAPAN

2017年10月 No.425
 Chartered July 20, 1982

主 題 Y's THEME (2016~2017)	クラブ役員 Officers
センテニアルクラブ会長 : 『一期一会』 国際会長 : 『ともに、光の中を歩もう』 アジア地域会長 : 『ワイズ運動を尊重しよう』 西日本区理事 : 『心身の健康づくりから、クラブの健康づくりへ』 中西部部長 : 『未来には希望がある』	会 長 : 三浦 直之 副会長 : 藤井 大祐 書 記 : 松浦 孝次 ドライバー : 松浦 孝次 会 計 : 岡本 剛介 メネット会長 : 坂本 千春 Y 連絡職員 : 船戸 輝久

Biblical Message of October

「モーセとイスラエルの民は主を賛美してこの歌をうたった。主に向かってわたしは歌おう。主は大なる威光を現し馬と乗り手を海に投げ込まれた。主はわたしの力、わたしの歌主はわたしの救いとなってくださった。この方こそわたしの神。わたしは彼をたたえる。わたしの父の神、わたしは彼をあがめる」

(出エジプト記 15章 1-3 節)

October Club Meeting

『BF』

10月第1例会

- 日 時 : 2017年10月18日 (水) 18:45~20:45
 場 所 : ホテルグランヴィア大阪
 司会 : 芝田 光雄 君
1. 開会 三浦 直之 会長
 2. ワイズソング 一同
 3. 聖句朗読 中井 祥子 メネット
 4. ゲスト・ビジター紹介 三浦 直之 会長
 5. 今月の強調月間 (3月=中村 隆幸 君)
 6. 晩餐 一同
 7. 「小林一則さん」入会式 三浦 直之 会長司式
読売ゴルフ(株)取締役営業戦略本部長
 8. 卓話「遺言のお話」中原 誠・司法書士
 9. オークション 岡本 剛介 君
 10. 連絡・報告・ニュース 各メンバーから
 11. 誕生祝い・ニコニコ献金 一同
 12. 閉会 三浦 直之 会長

お誕生日 : 船戸、何、小林の各メン

※プレゼントは、三浦直之メンに用意していただきます。

例会担当 : 1班 : 大村、角地、芝田、藤井、山田、山中の各メン

10月第2例会

日時 : 2017年10月25日(水) 18:30~20:30
 場所 : 土佐堀YMCA会館4階



中秋の名月

三浦 直之

今年の中秋の名月は10月4日で十五夜と呼ばれ、澄んだ月を見るのに最も良い時季です。夜空を見上げると月が澄んだ空に輝いていました。満月は10月6日でこの夜の月は満月の1歩手前で、これは旧暦の8月15日の月を中秋の月とする為です。月を愛でる習慣は平安時代に中国から伝わり、古くから、詩歌に詠まれてきました。

百人一首には、「秋風にたなびく雲の絶え間より もれ出づる月の影のさやけさ」左京太夫頭輔とあり、自然の美しさと人の感性の響きあいの素晴らしさに思い至ります。

【クラブ統計 Statistics】

9月		種 別	第1例会	第2例会	BF ポイント		ニコニコ献金	
在籍会員	19名	メ ン	12名	7名	8月	Og	9月:	15,200円
例会出席	13名	メネット	6名	0名	現 金	0円		
うちメーキャップ	0名	ビジター	0名	0名	累 計			
出席率	68.4%	ゲ ス ト	4名	0名	切 手	204g	累 計:	49,995円
		合 計	22名	7名	現 金	0円		ホークツヨク: 17,800円

モーセが海を割ったとき、合唱がおこり、モーセの姉ミリアムによって楽器（小太鼓/タンバリン）が奏でられます。神の救いのわざに対する感謝と賛美の音楽。神が世界と私たちを守り、治め、導いてくださるその中で、音楽は大切な役割を果たしています。賛美とは必ずしも歌を歌うことではありませんが、歌は賛美するのに最も良い方法です。神が私に良くなってくださったことを思うとき、私たちは感謝と畏敬の念を持ちます。また、神の偉大さ、すばらしさを思うとき、私たちは主をほめたたえずにはいられなくなります。

(聖句選/コメント：中井 祥子)

9月第1例会報告

と き：2017年9月20日（水）18:45～20:45
ところ：ホテルグランヴィア大阪

台風18号が過ぎ去り、すっかり涼しくなった例会が、ゲストを含め22名集まり開催されました。今月はメネットが企画、運営し行われるメネット例会。本日の卓話、西日本区メネット事業主任の中道京子メネット事業主任。今期国内プロジェクトでは、「子どもの貧困」を取り上げています。厚生労働省によると、「子ども7人に1人が貧困」と発表。子どもが自己肯定感を持つことができず、希望が失われていると語る。中道さんは子どもの貧困の実態を話した後、神戸YMCAで子どもの居場所づくりの一環として学習支援を行っている活動や他の団体の活動例を紹介。ワイズのメネット会が減少する一方で、このような事業をすることの大切さを説き、ワイズ全体で展開したいと訴えました。

西日本区では、資金調達100万円の目標を掲げ、各クラブは募金活動を行い、献金として一旦西日本区に集められた後、各クラブの然るべき支援事業に配分されるようです。

その後、北村知三・中西部メネット事業主査が中西部でも、2月にNPOを講師に招き、メネットアワー事業を計画している旨を述べました。

また、山口ひかる・YMCA職員が、熊本地震被災者支援として、昨年7月から行っているチャリティーイベントの企画を紹介、支援の協力を求めました。

23日の中西部部会を前に、西日本区のメネット事業の概要を理解する有意義なメネット例会になりました。



今期のメネット事業の大切さを語る中道京子主任

≡≡≡ Club Activities September, 2017 ≡≡≡

On September 20, our club's September meeting was held at Hotel Granvia Osaka with a total of 22 Y's Men, Y's Menettes and visitors in attendance. With its emphasis on "Y's Menettes' activities" this month, Ms. Chiharu Sakamoto presided over the meeting.

The highlight of the meeting was a speech made by Ms. Kyoko Nakamichi, RSD in charge of Y's Menettes Activities of the Japan West Region. Ms. Nakamichi touched on the issue of "Children's Poverty" which is the national project of the Y's Menettes' activities for the year 2017 to 2018.

On June 27, Japanese Government announced that one child out of 7 children live in poverty. Most of these children come from the families with single parent. Mostly they have less opportunities of receiving good education due to economic reasons. If this serious problem remain unsolved, it would affect Japanese economy deeply.

To cope with the situation, Y's menettes of the JWR decided to back up local organizations supporting local children in need. Ms. Nakamichi specifically explained how to deal with the issue - raising one million yen to distribute the fund to the appropriate organizations throughout Japan West Region.

Although this is only small step toward tackling this issue, we believe this least but sincere efforts by the Y's menettes will bring about good results in the long run. Yen 15,200 was collected at the meeting as the club's smiling fund.



中西部のメネットアワーの取り組みを話す北村知三主査



熊本被災支援イベントで各クラブを訪問の山口ひかるさん

8月の初め、イスラム過激派組織「イスラム国」(ISIS/ISIL)が2014年建国を宣言し、イラクでの最大拠点としてきた北部のモスルをイラク軍とクルード勢力が奪還したという報道がありました。ちょうどその頃、JICAの授業で“Comprehensive Waste Management”と題するアフリカ・中東混成チームの授業を担当しました。一行の中にイラク・チームとして2名のクルード人の参加者がありました。(写真上)世界で「国をもたない最大の民族」といわれるクルード人—彼らの正式英語名はKurdistan Regional Governmentという自治区を構成—彼らはイラクのイスラム過激派の拠点のあった場所を含めイラク北部一帯に居住しています。(写真下)アラブ人とは異なる言語、文化を持ち、イラクの人口の2割を占めています。フセイン政権下では弾圧の対象になりました。彼らは対「イスラム国」戦争に積極的に参加し、多くの若者の犠牲者を出しています。

日本のJICAはこのクルードの人々を支援しています。この民族は、イラン、トルコ、シリア、イラクに分散して居住しています。彼らは第一次世界大戦以降、独立国家を志向してきましたが、大国に阻まれ実現していません。大国に翻弄され続けて来た悲劇の民族です。今回の二人は温厚なCivil Engineerで、現状を話してくれました。彼らの自治政府は、今を独立の好機と捉えており、独立を問う住民投票を実施。独立派が圧倒的優勢という結果が出ました。これに対して、イラク政府は反対、アメリカも慎重姿勢です。彼ら二人も前途はそう簡単ではないと、いいます。彼らにとって厳しい状況はさらに続きそうですが、話をした二人とも前向きで、今回の来日経験を大いに活かしたいと、元気に話してくれました。



9月第2例会報告

と き：9月27日(水) 18:30~20:15
 ところ：大阪YMCA会館4F
 出席者：石津、大村、岡本、芝田、藤原、何、三浦の各メン

〈ワイズ活動〉

- YYYフォーラム&ボランティアワーク in 六甲YMCA 10/7(土)10:00~16:00 大村、芝田、三浦、山田
- チャリティーラン 10/15 鶴見緑地 切テカ (山中夫妻)、表コミの2チーム スタッフ=大村、藤原、三浦
- 土佐堀カーニバル 11/3、大阪YMCA

〈クラブ活動〉

- 11月例会 卓話者：小林一則さん(読売ゴルフ)
- 表コミ学科お茶会 11/17(金) 14:50~15:40
- 12月クリスマス例会(12/13、レストラン「CORONA」 会費4千円。なかしまクラブと合同)
- ファミリーコンサート 2018年5月12日(土) 14:00~16:00 大阪YMCA・ホール
- センテニアル懇親会 日程=①1/7、8②2/11、12 行先=A.淡路島 B.有馬 C.ネスタリゾート(三木市) 費用は、2~3万円。 (第2例会議事録より抜粋)

YMCA ニュース

☆第294回 早天祈祷会

日時：2017年10月20日(金)7:30~8:30
 証し：向谷 章さん(福岡YMCA前総主事、大阪YMCA元スタッフ)
 場所：大阪YMCA会館10階チャペル

☆YMCA 新ブランドキャンペーン&イベント

1. 新ブランドキックオフデーのご報告
土佐堀館と天王寺館のエントランスホールがリニューアルされ、10月1日(日)に土佐堀会館にて披露セレモニーが行われました。新しいエントランスホールをぜひご覧ください!
2. ポジティブYキャンペーン
新ブランド公開に合わせ、様々なキャンペーンイベントを予定しています。詳細は、別途WebサイトやFacebook等でご案内いたします。お楽しみに!

☆チャリティーラン(第23回)

日時：2017年10月15日(日)9:00~13:00
 場所：花博記念講演 鶴見緑地 特設コース ※ランナーの申込み受付は終了しました。

☆とさぼりカーニバル(第17回)

日時：2017年11月3日(祝・金)11:00~15:00
 場所：大阪YMCA会館
 内容：各種模擬店、キッズランド、大抽選会、ステージパフォーマンス、工作教室、展示室…その他楽しみがいっぱい!

(船戸 輝久)



ニコニコ・メッセージ



【Messages from the Club Members】

《ピジター、ゲストからのメッセージ》

○7月例会に続いて、また参加させてもらっています。9月メネット月間なので役割上（メネット主査）出席しなければ、という思いです。メネットさんがたくさん出席されていて、大阪クラブからみるとうらやましいです。今期のメネット事業「子供の貧困」について、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

（大阪クラブ・北村知三 / 中西部メネット主査）

《会員、メネットからのメッセージ》

○「子供の貧困」について、マスコミで知ることは出来ますが、直接目にすることはありません。ワイズで支援する機会がありますので、協力していきたいと思えます。（石津 雅人）

○23日の中西部会の準備に忙しい日々を過ごしています。部会がクラブの皆さまのご支援で無事に終わりますことを祈っています。（大村 肇）

○今2歳、4歳の子供を持ち、テストの点数を出さない2人への教育とは何かと考えます。今回の「子供の貧困」とは、心の貧困ではないかと感じます。共働きでも、片親でも、子供にできる心の教育はあるのではないかと改めて思えます。この活動が「人のために」を子供たちに伝える心の教育になることを心から願っております。（岡本 剛介）

○今日はメネット例会で、久々に隅田メネット、中村珠実メネットが来てくださってうれしかったです。（坂本 千春）

○小林様ご入会、誠にありがとうございます。と同時にワイズダムを楽しんで活躍ください。（芝田 光雄）

○久しぶりに出席させていただきました。変わらず楽しい充実した例会に感激です。ありがとうございました。

（隅田 恵子）

○メネット例会、多くの参加者があり、盛り上がりました。感謝します。（谷川 寛）

○子供の貧困の問題は、ワイズとしてどのように考えていくのか。メネット事業をぜひ成功させたいものです。（中村 茂高）

○前回お声かけいただいて、今日参加させていただきました。お誘い、ありがとうございました。今日は「子供の貧困」というテーマでしたが、産院で仕事をしている私も、日々患者さまの人生ドラマに接しております。未成年の中絶や、シングルマザーの産産など。改めていろいろと考えさせられるお話、ありがとうございました。（中村 珠実）

○中道主任のお話、ありがとうございました。隅田さん、次月もご出席できますように！！（中村 幸枝）

○隅田さんに久しぶりにお目にかかれて、大変うれしく思います。今夜のテーマ「子供の貧困」について、多様な原因が」会うように思いますが、メネット活動のテーマに取り上げられたことに敬意を表します。ワイズで出来ることには限りがあると思えますが、効果的な方策がとられることを願っております。

（藤原 正巳）

○今日は、中道さんをお迎えし、よい学びの時をいただき感謝でした！漠然とした知識しかなかった「子供の貧困」について、具体的な現状をお教えいただき、メネット事業の取り組みの大きな意義を感じました。YMCAでも取り組みを共に出来たらと思います！（船戸 輝久）

○「貧困」は、私たちが普通にやっていることが出来なくなる。

また「心の貧困」につながるということ。そしてそれは社会全体につながる。すなわち、自分に降りかかってくるということ。目に見えないかたちで。まさに「負の連鎖」ですね。支援金目標は、100万円。（松浦 孝次）

○「子供の貧困」は、社会全体の問題となるということが、よくわかりました。今日は、隅田メネットや中村珠実メネットも出席されて、嬉しいことでした。（松浦 和子）

○今年度のメネット事業「子供の貧困」は、社会の問題の現れだと思います。将来の社会のために、ぜひ貧困を撲滅することが必要ではないでしょうか。（三浦 直之）

○おかげさまで、80歳を元気に、日々機嫌よく過ごしております。感謝の日々です。（山田 孝彦）

○小林一則さんの入会表明はうれしい限りです。ご本人とセンターアルクラブの弥栄を祈念し、神さまに感謝します。

（山中 秀男）

○隅田さん、お久しぶりです。時々お顔を見せてください。お待ちしております。（山中ちあき）



9月23日、我がクラブがホストの中西部部会に134名が集まり無事終了。ほっと一息・・・=ホテルグランヴィア大阪

後記

6日、ノーベル平和賞に決まった国際NGO「核兵器廃絶国際キャンペーン」(ICAN)。この受賞決定の原点は広島と長崎の被爆者たちです。核兵器を人道的な立場から否定する核兵器禁止条約。この条約に唯一の被爆国日本が参加していない事実。「あなたはどこの国の首相ですか」とは有名な言葉です。核・ミサイル開発を続ける北朝鮮。私たちの民意とかけ離れた方向に、国が、世界が動いているような、なんともやりきれない、無力感を感じる中で、この受賞は朗報でした。

とにかく今期最大の中西部部会が無事に終わり、ほっとしています。

Shige